



中長期基本計画

輝きある未来へ繋ぐ 中長期基本計画2022-2029(22-29)

公益社団法人日本ペタンク・ボール連盟

2022年6月5日 (一部2023.3数値)

目次

【はじめに】 公益社団法人日本ペタンク・ボール連盟

【中長期基本計画の内容】

1. ペタンク競技について

2. 当連盟の目的

3. 当連盟のビジョンとミッションについて

4. 中長期計画

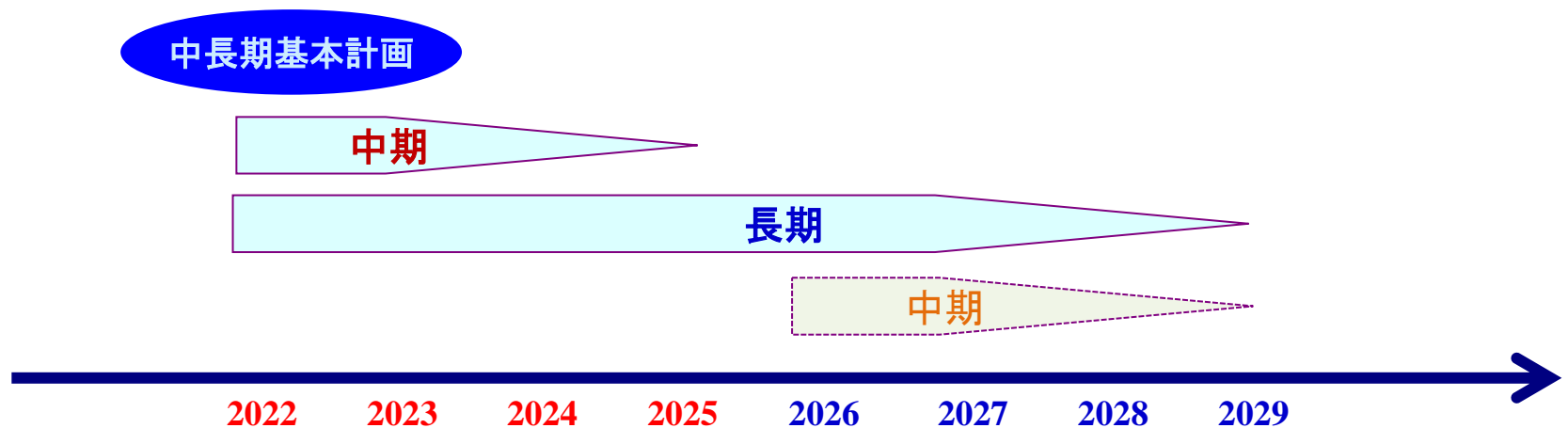
☆中期計画2022年～2025年

☆長期計画2022年～2029年

【まとめ】 未来へ

【はじめに】 公益社団法人日本ペタンク・ボール連盟

- 当連盟は2020年に、創立50周年を迎えることができた。
- 創立60周年、70周年に向けて、「輝きある未来へ繋ぐ」ために、中期では2025年、長期では2029年を1つの目標点（マイルストーン）とした中長期基本計画を取り纏めた。
- 計画の内容は、基本的な取り組みと、その時点でのゴールを明らかにし、持続的な組織発展の実現を図っていく。



【 中長期基本計画の内容 】

1. ペタンク競技について

- ペタンクは、1910年に南フランスで生まれたスポーツである。
発祥国のフランスでは、500万人もの国民が楽しんでいる。
- いつでも、どこでも、少スペースで楽しめるボールスポーツ。
- 日本では1965年に俳優でマルチタレントの伊丹十三氏が
フランスから持ち帰り、国内に広めたのが始まりである。
- 日本国内のペタンク競技組織は、1970年に日本ボンボール
協会として設立され、50年余を経ている。
- 現在は、日本全国の都道府県に加盟団体が組織され、
「ねんりんピック」の正式種目となり、また、同じフランス発祥
のボールスポーツであるスポールボールも組織に加わり、
全国で10数万人が楽しむスポーツとなっている。

2. 当連盟の目的

- 当連盟は、国際ペタンクプロヴァンサル連盟に加盟し、我が国のペタンク(スポールボールを含む)を統括している。
- ペタンクの講習会や競技会等の事業を行うと共に、日本を代表する選手の育成を行っている。
- 単純なルールと、奥深い技術性を兼ね備えた競技スポーツとして、また生涯スポーツとして、普及振興を図っている。
- 2011年には公益法人として認定され、「国民の心身の健全な発達と、社会交流の増進に寄与すること」を目的としている。

3. 当連盟のビジョンとミッションについて

- スポーツ庁は、政策目標に「成人のスポーツ実施率向上」を掲げている。
- 生涯スポーツのペタンクは、まさに競技の振興及び普及を全国各地へ広げることで、健康といきがいつくりへの社会貢献ができるスポーツである。
- そのためには魅力のあるスポーツとして発展し、「輝きある未来へ繋ぐ」ことが求められている。

次ページから、以下を記載する

- ◎ ビジョン(実現を目指す、将来のありたい姿)、
- ◎ ミッション(果たすべき使命)

◎ビジョン(実現を目指す、将来のありたい姿)

- ジュニアから、シニア年代まで、人々がペタンクを楽しみ、愛される競技となること。
- トップアスリートがアジア・世界で常に活躍し、人々に夢と希望と感動を与えること。
- ペタンク競技が、国体の種目に選ばれる等、人々や行政のペタンクへの関心が高まること。
- 運営を担っていくことができるしっかりとした組織の基盤、安定した財政の基盤が整備されていること。

◎ミッション(果たすべき使命)

- 各年代にあった取り組みと、スポールブールの普及を行い、競技者人口と当連盟及び加盟団体の加盟員数の増加を図ること。
- 魅力ある大会を、多くの開催地で、頻度も高めて開催すること。
- 指導員の学ぶ機会を充実し質を上げ、指導者の技術指導力向上と、競技者の広がりに資すること。
- 審判員の学ぶ機会を充実し質を上げ、公正な大会の運営に資すること。
- 強化活動を充実し、アジアや、世界で活躍できる強化指定選手を育成すること。
- 行政やその他の運営体への働きかけを行い、国体やその他の大きな競技大会の種目に採用されること。
- 連盟の制度や仕組みを充実させ、ガバナンスの質と財政基盤を高めること。

4. 中長期基本計画

☆マイルストーン項目

- a. 海外での活躍
- b. 会員数
- c. スポーツ協会への加盟
- d. ガバナンスの充実
- e. 人材の育成、充実

☆中期 2022～2025年



☆長期 2022～2029年

ミッション
(果たすべき使命)

ビジョンの達成に向けて
(実現を目指す、将来のありたい姿)

a.海外での活躍：国際競技力の向上、選手強化

§ マイルストーン §

◇ カテゴリー：男子、女子、ジュニア

◇ 種目：トリプルス、ダブルス、シングルス、ティール

☆中期 2022～2025年

・国際大会(世界隔年)各カテゴリー、出場1種目以上の予選通過

※世界大会での入賞の記録

男子：入賞なし

女子：2013年 ティール第5位、2017年 トリプルス第5位

ジュニア：2017年 ティール第5位

☆長期 2022～2029年

・国際大会各カテゴリー、出場半数種目以上の予選通過

b.会員数

§ マイルストーン §

◇日本連盟、加盟団体の加盟員数

☆中期 2022～2025年

- ・日本連盟の会員数 4,600名維持(2022年 4,427名)
- ・含む加盟団体の会員数 9,300名維持(2022年 8,677名)

☆長期 2022～2029年

- ・日本連盟の会員数 5,000名以上
- ・含む加盟団体の会員数 10,000名以上

c.スポーツ協会への加盟

§ マイルストーン §

◇都道府県スポーツ協会への加盟数

☆中期 2022～2025年

・都道府県加盟数 24県以上 （2022年19道府県）

☆長期 2022～2029年

・都道府県加盟数24県以上他で、国体の公開競技種目に採用

d.ガバナンスの充実

§ マイルストーン §

◇役員理事構成

将来の外部理事25%以上、女性理事40%以上の達成を図る為

☆中期 2022～2025年

- ・外部理事割合 20%以上 (2021年1名→2022年3名 16%)
- ・女性理事割合 20%以上 (2021年1名→2022年3名 16%)

☆長期 2022～2029年

- ・外部理事割合 20%以上(維持)
- ・女性理事割合 25%以上

e.ガバナンスの充実

§ マイルストーン §

◇組織、制度

組織運営等に必要な見直しは、適宜行う

☆中期 2022～2025年

- ・学生ペタンク組織の確立
- ・危機管理マニュアル策定完了(2023.4完了)
- ・コンプライアンス委員会、通報・相談窓口設置(2022.4完了)

○ガバナンスの充実

§ マイルストーン §

◇財政基盤安定（国際大会招致、海外コーチ招聘、組織運営資金等）

☆中期 2022～2025年

- ・正味財産期末残高 1,000万円以上
（2022年度末約500万円）

☆長期 2022～2029年

- ・正味財産期末残高 1,200万円以上

○人材の育成、充実（国内全ブロックの指導者・審判員を育成、充実）

§ マイルストーン §

◇指導員数、審判員数

☆中期 2022～2025年

- ・上級指導員数 20名以上 (2022年度16名)
- ・A級審判員数 30名以上 (2022年度27名)

☆長期 2022～2029年

- ・上級指導員数 25名以上
- ・A級審判員数 35名以上

【まとめ】 未来へ

■ 中長期基本計画のキャッチフレーズ

輝きある未来へ繋ぐ

■ 大事にすること

- ・ペタンク競技の魅力を高める活動、発信を行うこと
- ・持続的な観点で、組織の価値向上を目指すこと